健常ボランティア募集のお知らせ

『研究課題名　貼付型体表面電極を用いた肛門筋電図評価の確立』

東邦大学医学部リハビリテーション講座では、研究に協力してくださるボランティアを募集しています。

【研究の背景および目的】

直腸癌術後排便障害の改善のためには、筋電図を用いた外肛門括約筋のバイオフィードバック（BF）訓練が有用であることが知られています。この訓練は、一般的に挿入型の肛門電極を用いた肛門筋電図が使用されていました。しかしながら、挿入型の肛門電極は直腸吻合部への負担、挿入に伴う違和感・羞恥心、リハビリテーションを担当する理学療法士は患者の肛門内へ電極の挿入を我が国の医療制度上認可されていないなどの課題があります。

そこで、東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科では、挿入型肛門電極の代替とし貼付型体表面電極を用いた肛門筋電図測定の確立を目的として本研究を計画しました。
この研究で得られる成果は、貼付型電極を用いた肛門筋電図評価の確立とバイオフィードバック療法の確立につながると考えられ、皆様のご協力をお願いいたします。

【研究方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

測定内容は肛門内に電極を挿入しながら、肛門周囲に貼付した電極を用いて筋電図を測定します。所要時間は１回約３０分とし、２回実施する予定です。

【募集対象および人数】

直腸と肛門周囲に関連する疾患の既往歴が無い成人男性で、本研究への研究協力に同意して頂ける方１５名を予定しております。

【謝礼】

本研究に参加いただける方には薄謝として、2 回目の測定を終えてから QUO カード 3000 円分をお渡しいたします。

【実施場所】

東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科
〒143-8541　東京都大田区大森西 6-11-1

【連絡先および担当者】

ご応募いただいた方には個別に担当療法士が面接を行い、試験項目や実施期間などについて詳しくご説明いたします。本研究にご協力くださる方やご質問のある方は、下記連

絡先までご連絡ください。

東邦大学医学部リハビリテーション講座

理学療法士　小椋遼治
電話　03-3762-4151　内線 6646